

事務局ニュース

《事務局業務日・時間》月曜日～金曜日(土日・祭日休業)
午前 9:30～午後 3:30

No.256 2019年3月1日
NPO 法人富山県腎友会事務局
〒931-8443 富山市下飯野 70-4
TEL:076-407-5085
FAX:076-407-5086
発行責任者 中 秀晃
編集 坂田 祐美
定価 50 円(会費に含む)

国会請願署名・募金集計

2月26日現在

病院名	全腎協	JPA	募金
県立中央	139	129	5,000
富山赤十字	257	197	21,000
横田	286	209	21,000
長谷川	0	0	0
不二越	1,581	1,130	30,000
元町内科	194	194	5,000
北川内科	0	0	0
城南内科	482	162	31,977
富山協立	34	34	10,000
政岡内科	261	189	32,900
済生会富山	65	39	4,000
かみいち総合	540	422	30,000
みかわ	98	65	2,000
うさか	80	79	23,000
厚生連高岡	1,468	1,018	60,000
高岡市民	333	163	11,005
あさなぎ	770	566	80,000
高陵	630	350	52,000
吉田内科小児科	30	20	2,500
小島	599	377	18,000
市野瀬和田内科	74	56	3,000
済生会高岡	302	226	35,000
泉が丘内科	1,037	649	31,000
氷見市民	254	235	21,000
中村記念	53	32	11,000
射水市民	104	102	10,000
河合内科	220	220	8,000
真生会富山	121	109	0
黒部市民	1,458	1,312	80,000
富山労災	77	76	28,000
坂東	156	149	12,000
厚生連滑川	65	54	14,000
あさひ総合	246	123	15,000
砺波総合	137	133	20,000
北陸中央	203	151	16,000
南砺市民	151	128	31,646
南砺中央	72	50	18,000
個人会員	1,132	996	32,800
合計	13,709	10,144	825,828

皆様のご尽力により、上記署名・募金が集まりました。
ご多忙の中、誠にありがとうございました。

第42回理事会

2月17日(日)サンシップ703号室において開催され、理事14名、監事2名、相談役1名が出席しました。

理事会では、平成31年度事業計画ならびに予算(案)、理事逝去に伴う欠員の補充(案)などが審議され、3月17日(日)の第41回総会において付議されることになりました。



県選出国會議員富山事務所を訪問

3月14日(木)に実施される第48次国会請願に先立ち、2月19日(火)、池田会長、中事務局長が3名の県選出国會議員事務所(田畑、堂故、又市)を訪問し、請願署名の受け取りと国会提出紹介議員受託をお願いしたところ、承諾を得ることができました。(橘、宮腰、野上議員は内閣閣僚のため紹介議員になることができません)

皆様に集めていただいた署名は、国会請願当日、池田会長、中事務局長、水本相談役等によって紹介議員を通じ衆参両院へ提出されます。

腎臓移植希望登録の更新時期です



平成30年3月31日以前に腎臓移植希望登録をされた方には、日本臓器移植ネットワークから更新手続きのお知らせが届いている時期です。書類の案内に従い、

平成31年3月31日(日)までに手続きを済ませてください。

なお、返送期限までに手続きが行われない場合は、更新の意思がないものとして扱われますのでご注意ください。

～全腎協からのお知らせ～

厚生労働省は1月から2月にかけて、全国厚生労働関係部局長会議および全国健康関係主管課長会議を開き、2019年度事業や健康行政などの各分野の重点取り組み等について、都道府県の担当者に説明しました。今回はその中から次の2つの動きをお伝えします。

■ 臓器提供体制強化に向けた動き

2010年法改正以降、脳死による臓器提供件数は増加傾向にあるものの、希望者数には届かない状況は依然として続いています。

臓器提供数は地域および施設間で大きな差があり、提供経験の少ない施設は院内体制等が整っていない状況にあること等が指摘されてきました。

これに対し同省は、今後は地域における臓器提供体制の構築を図ることが重要だとし、新たに「臓器提供施設の連携体制構築事業」を創設し、臓器提供事例が多い施設から少ない施設等に対し、人員配置やマニュアル作成のノウハウを助言、臓器提供事例発生時に医師や検査技師が応援に駆け付ける等の支援を行う考えを示しました。



■ 高齢者の肺炎球菌ワクチン定期接種を継続

2014年10月から導入された、65歳の高齢者を対象とする肺炎球菌ワクチンの定期接種が、2019年度以降も定期接種になる見込みです。

この定期接種は、原則65歳の高齢者を対象に実施されるものですが、すでに65歳を超えている方も予防接種が受けられるように、2018年度までの5年間は、経過措置として65歳以上の5歳刻みの方を対象に実施してきました。

同省は、65歳以上の接種率が35%程度にとどまっていることなどを踏まえ、これまで接種していない方への接種機会を提供するため、2019年度以降も5年間にわたり定期接種を継続することを決めました。

60歳から65歳未満の腎機能障害者も接種対象になります。ただし、すでに同ワクチンを接種したことがある方は対象になりません。誤って接種した場合は副作用反応が強く発現することが報告されていますので、予防接種を検討する際には、必ず接種歴を確認し、その上で主治医とご相談ください。

なお、接種費用の公費負担など詳細については、4月以降お住まいの市町村へお問い合わせください。



今後の予定

- 第48次国会請願 3/14 東京
- 第41回総会 3/17 サンシップ
- 30年度決算監査 4/9 事務局
- 全腎協理事会 4/13～14 東京
- 第43回理事会 4/21 富山市総合社会福祉センター

おくやみ

- 栗山 忠義 殿 不二越病院 享年83歳
- 紙子 平八郎 殿 真生会富山病院 享年75歳
- 渋谷 和男 殿 済生会高岡病院 享年77歳
- 木下 厚子 殿 富山赤十字病院 享年64歳
- 竹 中 晋 殿 富山赤十字病院 享年56歳
- 楠 静 香 殿 富山赤十字病院 享年38歳
- 滝本 輝政 殿 黒部市民病院 享年71歳
- 中田 壮一 殿 不二越病院 享年76歳

謹んでご冥福をお祈り致します

